様式第６号（ア）（第１１条関係）

該当しないものに二重線を引く。

記入例

~~炉・厨房設備・温風暖房機・~~ボイラー~~給湯湯沸設備・乾燥設備・簡易サウナ設備・一般サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機~~ 設置届出書

〇年　〇月　〇日

届出年月日

（宛先）高崎市等広域消防局長

個人：住所、電話番号、氏名を記入する。
法人：主たる事務所の所在地、電話番号、名称、代表者氏名を記入する。

届出者
住所　〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号（電話〇〇〇―〇〇〇〇）
氏名　消　防　太　郎

防火対象物	所在地	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号　電話〇〇〇－〇〇〇〇				
	名称	〇　〇株式会社		主要用途	工　場	
設置場所	用途	ボイラー室	床面積	〇〇㎡	消防用設備等又は特殊消防用設備等	消火器
	構造	鉄骨造	階層	１階		
設備	設備の種類	〇〇〇〇ボイラー				
	着工（予定）年月日	〇年　〇月　〇日		竣工（予定）年月日	〇年　〇月　〇日	
	設備の概要	設置位置、設備構造、仕様等を記入する。書き込めない事項は別紙に記載し、また必要に応じて設置位置図、仕様書等を添付する。				
	使用する燃料・熱源・加工液	種類		使用量		
		第４類第２石油類　灯油		２００リットル		
	安全装置	対震安全装置				
取扱責任者の職氏名		消　防　一　郎				
工事施工者	住所	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号　電話〇〇〇－〇〇〇〇				
	氏名	〇〇株式会社　消　防　二　郎				
※　受付欄				※　経		

用途欄と階層欄には、屋外の場合は、「屋外」と記入する。

設置場所等の床面積を記入する。

（例）対震安全装置、温度制御装置、炎監視装置　など

施行会社名についても記入する。

※欄は、記入する必要はありません。

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とします。
２　法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入してください。
３　階層欄には、屋外に設置する設備にあっては、「屋外」と記入してください。
４　設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入してください。
５　設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付してください。
６　※印の欄は、記入しないでください。
７　当該設備の設計図書を添付してください。

※届出書類は、正・副２部の提出をお願いします。